



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生

校訓 自主・自律

令和5年 5月22日
5月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28



竹の魅力

副校長 中里 勝司

大型連休が終わり、木々の緑が美しい頃となりました。休み明けの8日（月）の登校時では、いつも通り、生徒たちの元気の良い挨拶が聞こえ、教室にも活気があふれました。また、連休中大きい事故等の連絡もありませんでした。

さて、鎌倉の報国寺、京都の地蔵院は、『竹の寺』として有名です、また京都嵯峨野の竹林は、京都の風情を感じる、情緒ある、静かな佇まいを見せています。その竹林の中を歩いてみると、心がとても落ち着いたことを覚えています。『竹』は日本を象徴する植物の一つであり、昔から私たちの身近に存在していました。竹取物語の一節に「野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり」とあるように、当時の生活用品として、扇子をはじめ提灯や傘などがしなやかな竹から作られていたのです。竹がすくすくと青い空に向かい真っ直ぐに伸びる様子は、生徒達のたくましい成長の姿に似ています。しかし、竹は初めから立派な成長を見せているわけではなく、竹の子の段階から少しずつその成長の過程に『節』を作って伸びているのです。竹の節のあるところを『節目』といいます。言い換えると、『竹は節を作って確かに成長する』植物なのです。背の高い竹は節があることで、強風による横からの強い力を受けても折れにくいのが特長です。厳しい環境に耐えながら、しなやかに、しっかりと、たくましく伸びていきます。

また、竹は節ごとに成長点をもっていると言われています。それだけ竹の成長にとって、節は大切なものなのです。

生徒の成長過程においても同じことが考えられます。人生には必ずその時々節目があり、とても大切にされています。学校の節目には、入学式や卒業式等がありますが、これらは生徒達にとっての大きな成長点です。生徒達は、様々な成功体験や失敗体験等を繰り返しながら成長していきます。そして、その時々において自己を振り返り、次のステップへどのように向かうかを考え、進んでいくことが大切です。振り返りをするすることで、節目は単なる通過点から、より成長を促す成長点としての役割を果たすものになっていきます。

生徒達が竹のごとく健やかに、そしてたくましく育つように、学校、家庭、地域がそれぞれ責任を果たしながら協働して、成長を促していきたいと思います。

【4月・5月のアルバム】

《4月7日（金）入学式》



これから入学式



校長先生の話



1年生の先生方

《4月11日（火）新入生歓迎会》



1年生の入場



くす玉披露



部活紹介

《5月2日（火）生徒総会》



生徒会長



各委員会から



採決の様子

《1年生フレンドシップスクール》〔5月10日（水）～11日（木）IN筑波〕



野菜の収穫



JAXA 宇宙センター



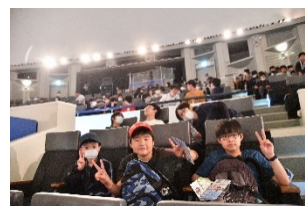
カレーライスづくり



つくばエキスポセンター



筑波グランドホテル



プラネタリウム



学年レクリエーション



田植え体験

【6月の主な予定】

6 / 3（土）	体育大会	20（火）	期末考査（社・国・音）
5（月）	振替休業日	21（水）	期末考査（理・数・美）
8（木）	学力向上を図るための調査（2）	22（木）	期末考査（英・保体・技家）
13（火）	耳鼻科検診	23（金）	音楽鑑賞教室（2）
14（水）	学力向上を図るための調査（1）		

